

市立伊勢総合病院

業務の概要

市立伊勢総合病院は、二次救急医療を始めとする地域の中核病院として、市民の健康増進と生活の質の向上を目指し、地域医療の継続発展を図るとともに、公営企業としての効率性を高めるよう努めてきた。

本年度は、新型コロナウイルス感染症患者等受入病床の確保を始めとした、新型コロナウイルス感染症への対応を図るとともに、地域医療の確保及び予防医学に取り組んだ。また、安全・安心で高度な医療を提供するため、人工呼吸器、自動遺伝子解析装置、超音波内視鏡システム、光干渉断層計、X線透視診断装置等の整備を行った。

利用状況は、入院患者数 78,823人（1日平均 216人）、外来患者数 123,105人（1日平均 507人）、健診者数 13,227人（1日平均 50人）となった。前年度と比較すると、新型コロナウイルス感染症の影響により、入院患者数で 9,421人、外来患者数で 6,393人、健診者数で 1,580人それぞれ減少した。

収支状況は、収益的収支において、消費税を除き収入額 8,351,708,045円（対前年度比 8.8%増）に対して、支出額 8,301,307,254円（対前年度比 3.1%増）となり、差引 50,400,791円の純利益が生じた。また、医師及び看護師奨学金の返還債務の免除により発生した資本剰余金の処分額 26,000,000円を含め、当年度未処理欠損金は 2,148,335,077円となった。前年度と比較すると、収入においては、患者数の減少により、入院収益及び健診収益で減収となったものの、外来収益及び新型コロナウイルス感染症対策に関連した補助金等で増収となった。一方、支出では、看護体制及びリハビリテーションの充実に伴う職員採用、新型コロナウイルス感染症対策に要した経費等で増額となった。

資本的収支においては、収入額 744,679,600円、支出額 1,106,055,276円の執行となった。

今後も、新病院建設による企業債償還金、減価償却費等により、厳しい病院経営となることが予測されるが、引き続き、医師確保に努めるとともに、医療体制の充実強化、質の高い医療の提供、地域医療の推進、病院経営の健全化に取り組んでいく。

1 職員に関する事項

（各年度3月31日現在）

区分	医師	看護職	医療技術職	事務・その他	再任用	計
令和2年度	52人	245人	91人	32人	13人	433人
令和元年度	52	228	82	34	9	405

2 経理の状況

(1) 令和2年度伊勢市病院事業損益計算書

令和 2年 4月 1日から 令和 3年 3月31日まで			
借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
病院事業費用	円 8,301,307,254	病院事業収益	円 8,351,708,045
医業費用	7,736,272,344	医業収益	5,998,029,703
給与費	4,138,089,119	入院収益	3,978,244,922
材料費	1,320,598,602	外来収益	1,831,148,310
経費	1,244,652,974	他会計負担金	49,870,000
減価償却費	996,612,720	その他医業収益	138,766,471
資産減耗費	1,011,357	健診収益	291,966,239
研究研修費	35,307,572	健診収益	291,966,239
健診費用	187,082,296	医業外収益	2,061,712,103
給与費	130,279,976	他会計補助金	530,235,120
材料費	5,588,231	他会計負担金	442,660,000
経費	34,113,223	県補助金	452,931,000
減価償却費	17,100,866	国庫補助金	149,171,947
医業外費用	377,952,614	長期前受金戻入	447,959,344
支払利息及び 企業債取扱諸費	63,448,605	その他医業外収益	38,754,692
雑損失	279,067,522		
負担金	5,408,687		
医業外雑費	30,027,800		
当期純利益	50,400,791		
合 計	8,351,708,045	合 計	8,351,708,045

(2) 令和 2 年度伊勢市病院事業貸借対照表

		令和 3年 3月31日	
借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
固定資産	円 18,051,728,153	固定負債	円 13,401,073,706
有形固定資産	17,619,377,340	企業債	11,830,832,915
土地	1,572,578,736	建設改良等企業債	11,830,832,915
建物	12,588,711,881	引当金	1,570,240,791
減価償却累計額	880,958,293	退職給付引当金	1,570,240,791
構築物	1,530,514,503	流動負債	1,732,308,787
減価償却累計額	75,707,697	企業債	708,955,386
器械備品	5,088,152,885	建設改良等企業債	708,955,386
減価償却累計額	2,208,148,128	未払金	775,756,784
車両	11,129,691	医業未払金	626,831,004
減価償却累計額	6,896,238	未払消費税	17,094,300
無形固定資産	3,562,685	その他未払金	131,831,480
電話加入権	3,562,685	引当金	245,696,000
投資その他の資産	428,788,128	賞与引当金	206,830,000
長期貸付金	302,655,000	法定福利費引当金	38,866,000
基金	126,133,128	その他流動負債	1,900,617
流動資産	1,793,771,501	預り金	900,617
現金預金	556,042,954	預り保証金	1,000,000
現金	1,285,000	繰延収益	1,621,566,272
預金	554,757,954	長期前受金	3,013,363,826
未収金	1,200,814,819	長期前受金収益化累計額	1,391,797,554
医業未収金	1,105,917,215	資本金	4,254,000,000
医業外未収金	110,185,237	剰余金	1,163,449,111
その他未収金	2,332,000	資本剰余金	984,885,966
貸倒引当金	17,619,633	受贈財産評価額	141,807,695
貯蔵品	36,913,728	他会計補助金	89,845,648
薬品	14,758,906	工事負担金	53,395,358
診療材料	18,648,037	寄附金	38,495,100
その他貯蔵品	3,506,785	他会計負担金	661,342,165
		欠損金	2,148,335,077
		当年度未処理欠損金	2,148,335,077
合 計	19,845,499,654	合 計	19,845,499,654

3 病院利用状況 令和2年度

診療科目	入院	外来
内科	24,839人	28,396人
循環器内科	5,671	4,973
外科・消化器外科	6,802	8,940
整形外科	20,002	24,574
形成外科	525	1,769
皮膚科	1,545	9,353
泌尿器科	2,960	10,000
婦人科	615	3,226
小児科	-	71
耳鼻いんこう科	-	667
眼科	1,185	6,557
精神科	-	1,388
脳神経外科	-	209
歯科口腔外科	1,297	11,474
放射線科	-	3,744
麻酔科	-	913
脳神経内科	3,252	6,024
ホスピス科	2,760	11
リハビリテーション科	7,131	631
呼吸器外科	239	185
計	78,823	123,105

4 物品購入に関する事項（金額100万円以上）

購入年月日	器械備品名	規 格	金 額	備考
2. 4.30	フライトヘルメット	日本ストライカー（株） 0408-600-000	円 5,736,500	
2. 5.21	災害医療用エアータント	日本船舶薬品（株） ITC-69・ITC-SH-66	6,897,000	
2. 6. 9	携帯型軟性内視鏡	オリンパスメディカルシステムズ（株） エアウェイマネジメントモバイルスコープ MAF-TM2	1,294,700	
2. 7.15	手術台	ミズホ（株） MOT-5602BW	4,618,900	
2. 7.22	空間除菌消臭装置	日機装（株） Aeropure	6,930,000	
2. 8.13	心電図検査装置	フクダ電子（株） FCP-8700	1,980,000	
2. 8.28	人工呼吸器	日本光電 HAMILTON C1	9,570,000	
2. 8.28	医用テレメータ	日本光電 WEP-1450	9,570,000	
2. 8.28	UV - C紫外線照射システム	（株）モレーンコーポレーション UVDI-360	8,800,000	
2. 9. 7	移動型X線装置	（株）日立製作所 Sirius Starmobile tiara	15,730,000	
2. 9.25	体位変換機能付エアマットレス	（株）モルテン オスカーエアタイプ MOSC83A	1,188,000	
2. 9.30	自動遺伝子解析装置	ベックマン・コールター（株） GeneXpertシステム GX -	3,828,000	
2.11.20	全自動遺伝子解析装置	プレジジョン・システム・サイエンス（株） ジーンリードエイト A2710	7,876,000	
3. 1.26	赤外線治療器	東京医研（株） スーパーライザー PX Type2	2,475,000	
3. 1.29	超音波画像診断装置	（株）日立製作所 ARIETTA65	5,500,000	
3. 1.29	マルチガスユニット	日本光電 GF-220R	1,430,000	
3. 2. 5	ミクロトーム	大和光機工業（株） REM-710	1,100,000	
3. 2.26	ノンコンタクトトノメーター	興和（株） KT-980	1,980,000	
3. 3. 8	医用画像表示用ディスプレイ	E I Z O RadiForce MX216他	2,530,000	
3. 3. 9	公用車	トヨタ ノアハイブリッド	2,933,098	
3. 3.12	超音波ガストロビデオスコープ	オリンパスメディカルシステムズ（株） GF-UCT260	5,720,000	
3. 3.15	体位変換機能付エアマットレス	（株）モルテン オスカーエアタイプ MOSC83A	1,188,000	

3. 3.15	リハビリシステムサーバーハードウェア	PRIMERGY RX1330 M4	円 3,182,080	
3. 3.22	滅菌コンテナシステム	ビー・ブラウンエースクラブ(株) プライムラインプロ他	1,386,000	
3. 3.22	超音波内視鏡システム	オリンパスメディカルシステムズ(株) EU-ME2 PREMIER PLUS・GF-UE290	17,380,000	
3. 3.22	超音波画像診断装置用プローブ	(株)日立製作所 L441・L55・C251	2,926,000	
3. 3.25	光干渉断層計	キャノンライフケアソリューションズ(株) Xephilio OCT-S1	19,470,000	
3. 3.25	超音波画像診断装置	G Eヘルスケア・ジャパン(株) Vivid E95 Ultra Edition	18,810,000	
3. 3.25	ワークステーション	キャノンライフケアソリューションズ(株) HP Z4G4	4,180,000	
3. 3.25	血液培養自動分析装置	日本ベクトン・ディッキンソン(株) BDバクテックFXシステム	4,257,000	
3. 3.26	手術台	ミズホ(株) MOT-5602BW	5,111,700	
3. 3.29	クリーンパーティション	日本エアーテック(株) ACP-897AHK・ACP-897CHK	2,475,000	
3. 3.31	ロングパルス長期減毛用レーザー	シネロン・キャンデラ(株) GentleMax Pro	12,650,000	
3. 3.31	X線透視診断装置	G Eヘルスケア・ジャパン(株) OEC Elite MiniView	18,480,000	
3. 3.31	3D対応4K液晶モニター	オリンパス(株) LMD-X310ST	2,068,000	
3. 3.31	オンライン資格確認システム	カードリーダー(EPSON)他	3,193,300	

備考欄「 」：新型コロナウイルス感染症対策物品

5 工事関係

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
楠部町内	(注1) 市立伊勢総合病院1階内視鏡室 改修工事	内装改修 一式	円 3,213,100	2. 4.14	2. 5.29
〃	(注2) 仮設職員駐車場 撤去復旧工事	駐車場撤去復旧 6か所	8,979,300	2. 6.19	2.10.19
〃	(注2) 病院北側職員駐車場 復旧工事	駐車場復旧 1か所	8,355,600	2. 6.30	2.10.23
計	3件	-	20,548,000	-	-

(注1) 営繕課施行

(注2) 基盤整備課施行

医師・看護師確保対策事業

病院事業の安定ひいては地域医療の存続のために、医師・看護師不足を解消すべく、確保対策の1つとして医師・看護師奨学金制度を運用している。令和2年度は看護師奨学生を6名新たに選考し、貸与終了後の医師及び看護師の安定的な確保に努めた。

なお、令和2年度卒業の医師奨学生2名、看護師奨学生9名は当院に就職した。

令和2年度 医師・看護師奨学生への奨学金貸与状況

・医師奨学生

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	計
奨学生人数	2名	2名	2名	2名	3名	3名	14名

・看護師奨学生

学年	1学年	2学年	3学年	4学年	計
奨学生人数	6名	7名	10名	5名	28名

奨学金制度のみならず、医師を派遣していただいている三重大学をはじめとした大学や医療機関へ積極的に働きかけを行った。また、市健康課と連携し、藤田医科大学に寄附講座を設置することで確保できた常勤のリハビリテーション科医師により、回復期リハビリテーション病棟への入院患者の積極的な受け入れに努めた。初期研修医の確保については、就職説明会への参加や病院見学者の受け入れに努め、4名（医師奨学生2名を含む）が当院に就職した。

看護師の確保については、三重県立看護大学特別選抜試験地域推薦入学制度の利用やホームページやフェイスブック等を活用した情報発信を中心に、確保につながる広報活動を行った。

地域医療連携関係

1 病診・病病連携

紹介患者予約の受付時間を引き続き18時30分まで1時間30分延長し、開業医からの要望に対応するとともに予約紹介患者の増加につなげた。

地域における第一線の医療機関である「かかりつけ医」を支援し、地域医療の確保を図る病院として相応しい構造設備等を有する病院として三重県より承認された『地域医療支援病院』の承認の継続に向けて紹介患者の獲得強化、地域の医療従事者の質の向上のための研修会についてWeb形式の研修会を中心に企画、開催した。

・診療所等からの紹介患者数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度	人 761	人 627	人 939	人 1,001	人 873	人 926	人 963	人 966	人 936	人 787	人 756	人 992	人 10,527
令和元年度	988	1,064	1,109	1,149	996	986	1,114	1,029	1,067	1,013	872	980	12,367
平成30年度	863	901	899	894	887	758	1,006	907	682	835	947	978	10,557

2 患者相談

患者相談においては、社会福祉士4名・看護師3名を配置し、患者支援センターにおいて入院

前・入院時における患者・家族等への支援を通じ、早期・円滑に相談対応、入退院支援に介入できる体制を構築した。また、ホスピス病棟については、専任の社会福祉士を配置し今年度約130件の問い合わせ、相談に対応し37名の外来面談を行った。

患者相談・支援対応件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和2年度	1,079	834	999	1,092	990	1,023	1,228	1,084	1,114	1,132	1,111	1,398	13,084
令和元年度	515	597	664	777	739	647	687	685	801	823	797	926	8,658
平成30年度	660	686	657	715	700	544	780	707	533	509	666	634	7,791

3 その他

回復期リハビリテーション病棟については、リハビリテーション科医師・専任の社会福祉士等にて大腿骨頸部骨折地域連携パス連携会議（まいわし医療連携会）に参加し紹介元医療機関、地域の回復期リハビリテーション病棟を有する医療機関との連携を図り、紹介患者の獲得に努めた。また「新型コロナウイルス感染症」拡大防止のため、Webを活用し関係機関との情報共有を行う環境を整えた。

健診・人間ドック関係

各種疾患や生活習慣病の早期発見・早期治療により、地域住民の健康増進の一助となるべく、各健保組合等から受託する人間ドックをはじめ、全国健康保険協会の生活習慣病予防健診や法定健診等を実施した。

新型コロナウイルス感染症の影響による全国的な緊急事態宣言の発令を受け、4月から5月にかけて13日間休診した。業務再開後も感染防止対策として、1日の受け入れ人数を制限したことにより、前年比で受診者が1,580人の減少となったが、入館時の健康チェックや時間差受付を実施するなど、受診者が安心して健診等を受けていただけるよう努めた。

また、健診結果については、要精密検査や要経過観察の判定となった方には、二次検査（外来診療）の受診案内を行い、疾病の早期治療につながるよう努めた。

1 受診者状況

区分	開設日数 日	受診者数			計 人
		人間ドック 人	健診等 人	その他 人	
令和2年度	267	5,854	6,814	559	13,227
令和元年度	286	7,016	7,256	535	14,807
平成30年度	283	6,345	6,991	592	13,928

人間ドック 胃検査、脳ドックを実施したコース

健診等 胃検査、脳ドックを実施しなかったコース

その他 インフルエンザ、破傷風、B型肝炎等ワクチン接種、B型肝炎検査他

2 二次検査受診者数

区 分	受診者数（延べ） 人
令和2年度	1,562
令和元年度	1,621
平成30年度	1,567

新型コロナウイルス感染症対策関連

新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ。

1 感染症対策

（１）新型コロナウイルス感染症患者等受入病床の確保

・日 時 令和2年4月18日から

（２）感染防止対策物品の整備

人工呼吸器、自動遺伝子解析装置等（「業務の概要 4 物品購入に関する事項（金額100万円以上）備考「 」参照」）の整備を図るとともに、外来診察室等へ飛沫防止スクリーンを設置した。

（３）正面玄関、時間外出入口及び職員通用口での発熱チェックの実施

・日 時 令和2年4月11日から

2 療養環境

（１）オンライン面会の実施

・日 時 令和2年11月9日から

・件 数 124件

3 診療体制

（１）電話による再診

・日 時 令和2年4月27日から

・件 数 203件

4 研修等環境

（１）オンライン研修等の環境整備

・日 時 令和2年9月1日

5 新型コロナウイルス感染症対策に関連した補助金収入額

区 分	補助金収入額		計
	収益的収入	資本的収入	
	円	円	円
県補助金	449,532,000	17,405,000	466,937,000
国庫補助金	146,500,000	0	146,500,000
他会計補助 （一般会計繰入金）	48,626,000	71,374,000	120,000,000
計	644,658,000	88,779,000	733,437,000